

学習内容と到達目標

👉 イベントの準備。それぞれの特技などを考慮に入れ、役割分担を考える。

指導のポイント

1. INTRODUCTION

第14課の復習。ステップ2での学習内容が定着しているか十分に確認した上で先に進む。①で「～のが好き」や「～のはおもしろい」、(理由が2つある場合は)「～し、～し」などが使えなかったり、②で質問にすぐに答えられなかった時は、第14課の入念な復習が必要。(特に「の」に注意)

2. SPEAKING

第20課で連体修飾節の作り方を学習しているので、この段階から「本を読んでいる人は誰ですか」と聞いてもよいが、心配なら、最初は「本を読んでいますね。あの人は誰ですか」のように質問する(実際に授業をした限りでは、最初から連体修飾節で質問しても特に問題はなかった)。

3. LISTENING

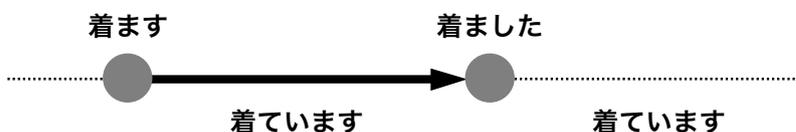
①では話の内容に注意を向けさせ、イラストの中の間違いを指摘させる。特に難しい語彙はないので、難なく答えられるはず。その後、②でディクテーションをし、連体修飾節の作り方を再確認する。この会話には、15課で学習した「～ている」のもう1つの用法として「結果の状態」(例、「めがねをかけている女の人」など)が出てくるが、学習者はそのことに気づいていない可能性が高い。その場合は、次の[4. FOCUS] ②を学習する時に気づかせるようにする(具体的な方法に着いては後述)。

4. FOCUS

①では、名詞を修飾する場合、「～そうな+N」のように、「な」を挿入しなければならないことに注意を向けさせる。また、視覚的に判断できる語彙(例、「きれい」「かわいい」など)には「そう」が付かないことにも気づかせる。[3. LISTENING]でも「⑤頭がいい」や「⑥やさしい」には「そう」が付いているが、「⑧きれい」には「そう」がついていない(ときどき「かわいい」に「そう」を付けて、「先生の奥さんはかわいそうです」(コラ!)などと言ってしまう学習者がいるので注意)。

②では、「～ている」には2つの主たる用法があることを理解させる。それには以下の方法がわかりやすい。

例. 脱いでいたジャケットを手に取り、「ジャケットを着ます」と宣言する。その後、ジャケットをゆつくりと着ながら、「今着ています」(動作の持続)と言い、着終わったところで「着ました」と言う。ひと呼吸間をおいて、「さて、みなさん。私は今何を着ていますか」と学習者に質問する。それでも2つの意味の違いがわからないようだったら、以下の図を板書する。



5. SPEAKING

絵を見てただ説明するのではなく、[3. LISTENING] のモデル会話を真似て会話形式で練習するようにする。

6. LISTENING

①では、話の内容に注意を向けさせ、誰がどの役割をするのかを聞き取らせる。その後、②でディクテーションをするが、可能形はまだ学習していないので、(予習をしてきた学生以外は) イ段がエ段に変わっていることに気がつかず、マス形で書き取ってしまうかもしれない。答えを確認した後で「作ります」と「作れます」、「話します」と「話せます」が意味的にどう違うのかを文脈から考えさせる。同様に「～てほしい」についても、答えを確認した後で、それが何を意図した表現であるかを文脈から考えさせる。

7. FOCUS

①では、表中のマス形と可能形を見比べながら、可能形の作り方について学習者自身に考えさせる。規則を発見できたら、その理解が正しいかどうかを②で確認する。③では「どのくらい・泳ぎます」→「どのくらい泳げますか」とただ機械的に練習するだけでなく、その質問をペアの学生にぶつけ、対話形式で練習するようにする。④は質問の意味を理解でき、正解を出せれば OK。⑤は「～たいです」と「～てほしいです」の違いと、実際の行為者が「ニ」で示されることに注意を向けさせる(文を作らせると、「ハ」や「ガ」にしてしまう学習者が非常に多い)。また、「～てほしい」に「～んですけど」を付けた「～てほしいんですけど」が依頼の表現であることや、「～てください」や「～てもらえませんか」との違い(誰に対して使う表現かなど)についても理解させる。

活動例

① パーティーを企画する

☞ 学生数人でグループを作り、パーティーの企画を考える。その上で、[6. LISTENING] の会話をモデルにそれぞれの役割分担を決めさせ、誰が何をするのか、またなぜその人がその役割をするのか(例、ポスターを作る/理由:絵が上手)を報告させる。

② アルバイトの面接

☞ この課のトピックと直接関係ないので、応用練習として使う。日本の大学生たちがアルバイトを探す時に使う情報誌を題材に「これなら自分にもできそうだ」と思う仕事を選ばせ、アルバイトの面接の練習をする。使用する表現は「1週間に何回来られますか」「一日何時間働けますか」など。

参考:『24 Tasks for Basic Modern Japanese vol.1』(The Japan Times) 16 課
『文化初級日本語Ⅱ』(凡人社) の 22 課 など



授業で使えるリソース

☞ [2. LISTENING] とよく似たリスニングの練習は市販の副教材の中にも結構たくさんあるので、時間が余った時などに活用するとよい。

例、『楽しく聞こうⅡ』（凡人社）の19課①

『24 Tasks for Basic Modern Japanese vol.1』（The Japan Times）7課
など

